

# デジタル深化時代の情報管理とリスク対応

～生成AI・SNS活用に潜む“見えない危険”を防ぐ判断と初動～

## 対象

- SNS運用や情報発信を任せられた若手～中堅社員
- 生成AIを業務で活用している方（文章作成・資料作成・データ処理等）
- 情報管理やDX推進、業務改善に関わる担当者

## 開催趣旨

生成AIやSNSの活用が進む中で、情報の作成・加工・発信を若手から中堅社員が担う場面が急増しています。一方で、「どこまでが許容範囲なのか判断できない」「トラブル発生時に誰が、いつ、どのように動くべきか分からず」「社内ルールやマニュアルが実務で活用されていない」といった迷いが、情報トラブルや対応の遅れを招くケースは少なくありません。

本講座では、現場で実際に起こりやすい情報トラブルの事例をもとに、「情報をそのまま扱ってよいのか」「いったん立ち止まるべきか」を判断するための考え方を整理します。あわせて、誤送信・誤投稿・情報漏えいが発生した際の初動対応や、個人の注意力に依存しない情報管理の仕組みづくりを学びます。社内マニュアルやガイドラインを見直す際に活用できる、現場で使える判断軸と整理視点の習得を目指します。

## 日時

<LIVE配信> 2026年3月9日(月) 10:00～16:00  
<見逃し配信> 2026年3月16日(月)～3月23日(月)  
※見逃し配信のみのご受講でもお申込みいただけます

## 講師

3trinity 主宰  
企業研修講師(日本プロフェッショナル講師協会認定講師)  
かどぐち まさよ  
角口 真代 氏

## 参加料 (負担金)

NOMA会員 35,200円(税込)／名  
一般 42,900円(税込)／名

## 申込方法

■株式会社ファシオが運営するサイトDeliveruからご受講いただけます。

お申込みは、Deliveru、本会HPのどちらからでも可能です。

### ■Deliveruから申込

- ①Deliveru[<https://shop.deliveru.jp/>]でセミナーを検索し
- ②セミナー詳細ページにある「注文する」からご購入ください。

(お支払方法:クレジットカード払い、pay-easy、コンビニ振込)

- ③購入後、確認メールが届きます。

### ■本会HPから申込

- ①本会HP[<https://www.noma.or.jp/>]でセミナーを検索し
- ②「WEB申込」からお申込みください。
- ③申し込み後、確認メールが届きます。後日、請求書と参加券が郵送で届きます。(お支払方法:請求書による銀行振込)

## 受講方法

- ・登録メールアドレスに、受講URL/ID等詳細のご案内が届きます(LIVE配信日の概ね3営業日前)
- ・カメラ、マイクのご準備は不要です。
- ・テキストのダウンロードは、LIVE配信日の3～1営業日前にサイト内でできるようになります。
- ・セミナーの録音・録画や資料の複製、お申込みいただいている方の閲覧等は固くお断りいたします。
- ・受講証明書はサイト内でダウンロードしていただけます。

## キャンセル ポリシー等

- ・開催日の5営業日前～当日のキャンセル・ご欠席は参加料の100%をキャンセル料として申し受けます。
- ・天災その他の不可抗力等により講師が登壇できない場合、講師の変更または延期させていただくことがあります。

## 主催・担当

一般社団法人 日本経営協会 本部事務局 企画研修 G  
(東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-31-11 住友不動産新宿南口ビル 13 階)

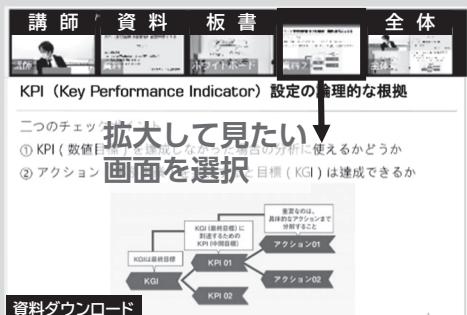
## 申込問合せ

株式会社ファシオ 03-6304-0550(平日 10 時～17 時)

## 学習指標

1. 「情報を扱ってよい」「止めるべき」場面を迷わず判断できる
2. 誤送信・誤投稿・情報トラブル時に「隠さない・遅らせない」行動が取れる
3. 情報リスクチェック観点と初動フローを整理し、自社業務に適用できる

## 見逃し配信 & 4画面配信



いつでもどこでも何度でも受講できる  
見逃し配信付きです！

### ①見逃し配信では

- ・見逃し配信期間でも、講師へ質問が可能です
- ・繰り返しご受講でき、講義の復習もできます
- ・チャプター形式でお好きな場所から見返せます
- ・倍速機能で効率よく学習できます

### ②資料はデータ提供です

- ③ご自身で拡大したい画面を選択できます  
マルチデバイスにも対応しております



日本経営協会 セミナー

検索



オンライン専用 東京開催 25982

オンライン専用 東京開催 25982

オンライン専用 東京開催 25982

# プログラム

## 1. デジタル業務で起きる 情報トラブルの実態整理

- (1) 社内秘・社外秘など情報区分の考え方
- (2) 現場で実際に起きている情報事故の例  
(誤送信・誤投稿・不用意な共有)
- (3) なぜ「悪意がなくても」事故が起きるのか
- (4) AI・SNS時代にリスクが見えにくくなる  
理由

## 2. 情報リスクをどう判断するか： 「やってよい／いったん止める」 の線引き

- (1) 情報リスクの考え方（分類と整理）
- (2) 個人判断に依存しないための判断軸
- (3) 迷いやすいグレーゾーンの考え方
- (4) 社内マニュアルに落とす際の視点整理

## 3. トラブル発生時の初動対応

- (1) 誤送信・誤投稿・情報漏えい時の基本行動
- (2) 「隠さない・遅らせない」ための考え方
- (3) 初動が遅れる原因と防ぎ方
- (4) 初動ルートを整理する際のポイント

## 4. 安全に情報を取り扱うための 仕組みづくり

- (1) 個人の注意力に頼らない情報管理
- (2) 役割分担・確認ポイントの考え方
- (3) 社内ガイドライン・マニュアルを「使われる形」にするための整理観点
- (4) 生成AI・SNS活用時に押さえる実務上の  
注意点
- (5) 社内展開・マニュアル見直しへのつなげ方

※最新の動向・情報を盛り込むため、内容を一部変更させていただく場合がございます。

## 講師紹介

3trinity 主宰  
企業研修講師(日本プロフェッショナル講師協会認定講師)

かどぐち まさよ  
角口 真代 氏



大手電力会社にて、データ管理や業務効率化をテーマにビジネスソフトの研修インストラクターとして1,000人以上の社員に研修を実施。その後、民間企業や公的機関における窓口業務、コールセンターでのオペレーター・SV業務を経験し、誤送信や情報共有ミス、判断の遅れが組織の信頼に直結する現場の最前線に向き合ってきた。

現在は、企業や公的機関など多様な現場を対象に、業務改善、情報リテラシー、個人情報保護、生成AI活用、AI・SNSリスクなどをテーマに、研修・セミナーに多数登壇。業務改善やリスク管理を実務として経験してきた背景をもとに、現場で起こりがちな「判断に迷う場面」や「つまずきやすいポイント」を具体的に言語化し、実践につなげる研修を行っている。

DXや生成AI、SNS活用といった新しいテーマにおいても、単なる「便利なツール紹介」にとどまらず、業務を前に進めるための攻めの活用と、ミスや情報漏えいを防ぐための守りの判断の両面から、現場が「どこで立ち止まり、どう判断すべきか」を具体的に示すことを大切にしている。

※出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせ下さい。

### メールマガジンのご登録



新規講座や申込を開始したセミナーを定期的にご案内しております。  
ご興味のある方はぜひご登録をお願いいたします。

登録はこちら⇒



メールマガジン  
登録用QR

※年間の講座スケジュールを本会HPで公開しております。

※本会HP画面です。

TOPICS 事業のトピックスやさまざまなお知らせ

民間向けセミナー：令和7年度(2025年度)「年間開催計画」

本部事務局(東京) / 関西本部 / 中部本部 / 九州本部 / 北